令和７年度　奈良市地域自立支援協議会
（　就労支援　）グループ　活動報告書

<table>
<tr><td>活動目的</td><td colspan="2">１奈良市地域の福祉就労を主とした就労支援環境についてより良い方向となるように意見を出し合い、改善を目指す。
２就労支援に係る機関の連携を強化する。</td></tr>
<tr><td>重点協議項目</td><td colspan="2">１就労選択支援事業がR7年10月から始まるため、その事業についての情報共有。
２卒業後に支援を必要と推定される普通高等学校在校生の関係者等、その他就労支援の情報を必要とする方々に広く周知するため、イベントの開催。
３就労支援を支える人材の育成…事例検討、勉強会などについての情報共有。
４就職促進及び就労定着を前提とした企業連携についての情報共有。
５アビリンピック奈良大会に就労移行支援事業所等からの参加を行い、事業所、利用者共に社会的評価のある目標に向かって取り組むことで、職業訓練や就労への意欲を高める。</td></tr>
<tr><td>テーマ
取り組み
ポイント</td><td colspan="2">１就労選択支援事業は今年10月から始まる喫緊の課題となっているため、各事業所が知る内容で情報共有をおこない、10月から始まる事業が滞りなく行えるように準備しておく。
２福祉就労についての情報を広く周知するため、イベントの開催
３，４については、メールやチラシでの情報共有もおこなう。事例検討は時間を取って行う。
５参加していなかった事業所はアビリンピックがどのような取り組みをしているか知る事から。各事業所で説明会に参加や大会見学を行い、来年以降に大会参加ができるように準備を行う。</td></tr>
<tr><td>開催実績</td><td colspan="2">・就労支援グループ会議
令和７年４月16日　19名
令和７年６月18日　19名
令和７年８月20日　22名
令和７年10月29日　21名
令和７年12月17日　21名
令和８年２月18日　23名

・就労選択支援ワーキングチーム
令和７年10月５日
令和７年10月27日
令和７年11月13日
令和７年11月27日
令和７年12月25日
令和８年１月21日
令和８年２月12日
令和８年３月３日
令和８年３月17日</td></tr>
<tr><td>グループの頻度

参加事業所・関係機関</td><td>活動頻度）
全体会議・・偶数月　第３水曜日　10時～
プロジェクト会議
・勉強会・意見交換会等、協議テーマに応じて随時開催
（体制）
・主担当
相談支援事業所リベルテ
・サブ担当</td><td>参加団体・機関
養護学校進路指導担当
ハローワーク奈良　専門相談第二部門
市内就労移行支援事業所
奈良県発達障害支援センターでぃあ～
基幹相談支援センター
奈良市障がい福祉課
奈良市産業政策課
なら障害者就業・生活支援センターコンパス
奈良若者サポートステーション</td></tr>
</table>

	ぷろぼの なら障害者就業・生活支援センターコンパス ・記録 ハッピーサービス	奈良市社会福祉協議会 相談支援事業所リベルテ その他 “障害のある人の就職促進を推進する”というテーマについて興味関心がある機関及び事業所
今年度の取り組み・協議事項	〇就労支援グループ ４月 16 日 ・アビリンピック奈良大会に就労移行支援事業所の利用者参加について 吉本(高齢者・障害・求職者雇用支援機構奈良支部)からの説明もいただく ・今年度の活動計画 ・就労選択支援についての情報共有 ６月 18 日 ・就労に向けての福祉サービス紹介イベント　役割分担決め ・就労選択支援についての情報共有／ワーキングチーム発足 ８月 20 日 ・就労に向けての福祉サービス紹介イベント　進捗確認 ・就労選択支援についての進捗確認 ワーキングチームでアセスメントシートの作成等を行うことを確認 ・困りごと相談／トライアル雇用を利用する場合の手続きについて ・きょうされん奈良大会　ボランティア募集のお知らせ 10 月 29 日 ・就労に向けての福祉サービス紹介イベント　進捗確認 ・就労選択支援について進捗状況確認 事業が始まって実際の利用者や事業の流れなど 12 月 17 日 ・就労に向けての福祉サービス紹介イベント　振り返り ・就労選択支援について進捗状況の確認 ２月 18 日 ・Google ドライブの運用について（就労選択支援ワーキングチームの情報共有、就労支援グループの議事録やイベント開催手順の共有のため） ・就労選択支援についての進捗状況確認 ・今年度の振り返り 〇就労選択支援ワーキングチーム 奈良市の就労選択支援事業所で同じアセスメントとなるように、アセスメントシートの検討し、事業を行う上での情報や困りごとの共有をおこなっている。 〇就労に向けての福祉サービス紹介イベント 令和７年 11 月 21 日に市役所正庁にて実施	

	普通科高校、養護学校、フリースクールなどにイベント開催を告知。当日は 38 名来場される。後日、事業所に通う事になった方もいる。 〇就労選択支援勉強会 令和８年３月25日　ぷろぼの福祉ビルにて開催。 学校の先生、相談支援事業所を対象として、実際の流れやグループディスカッションで困りごとの共有をおこなった。 次回、令和８年７月６日に奈良市役所正庁で行う予定。







成果	・就労に向けての福祉サービス紹介イベントで、教師、生徒、保護者に高校卒業後福祉サービスを知ってもらう機会となっている。高校生だけでなく、中学生～大学生の参加もあり、相談ブースも設けているため、相談もされていた。 ・就労選択支援については、実施している事業所を中心にワーキングチームでアセスメントシートやインテークでの聞き取り内容などの検討を行った。ワーキングチームで作成したアセスメントシートを使いたい場合は、就労支援グループに参加してもらう方向で話をしている。 ・アビリンピックへの取り組みは、取り組める事業所のみとなっている。参加自他事業所からは、参加者から良い経験になったとの感想が聞かれたとのこと。年単位で大会があるため、上の大会に参加できる成績でも、就職してしまって参加できないなどはある。 ・事例検討がイベントなどの話合いのためあまり行えなかった。 ・新しい事業が始まり、運用で困っていることなども相談できる場になっている。
来年度の活動へ向けて	・引き続き就労に向けての福祉サービス紹介イベントを行う。同じ時期で毎年行うことで、その時期になればあのイベントがあると認識してもらえるぐらいを目指す。 ・就労選択支援についても引き続き検討を行う。ワーキングチームでもアセスメントシートなどのブラッシュアップや困りごとを相談していく。 ・就労選択支援の勉強会を行ない、事業内容などを周知していく。 ・事例検討での地域課題抽出だけでなく、各事業所の現状を共有することで見えてくる地域課題もあるのではないかとの意見もあり、各事業所の現状を紹介する場を持つことにする。 ・Google クラウドの活用で情報共有を円滑に行い、イベントや勉強会に係る資料や記録などの情報共有をおこなう。